

大四日市まつりなどのあり方を考える市民会議⑤-2(花火大会)議事録

日時 : 平成16年9月18日(土)15時15分～16時40分

場所 : 総合会館 7階 第2研修室

出席者 : 委員 別紙出席表のとおり

事務局 商工課 平林課長、永田副参事、駒田勤労観光係長、中本主幹、待井技師

1. 会場周辺の状況

<事務局説明>

○市民から寄せられた意見を別紙に沿って紹介

※市民意見募集は9月17日終了。

○会場周辺の現状説明

メイン観客席である富双埠頭及び打上場所である霞ヶ浦北埠頭の現在と将来について別紙資料に沿って説明

<懸案事項>

○今までと同じ場所で同規模の花火を打ち上げた場合、北埠頭コンテナターミナルに保安距離がかかるため、一時コンテナターミナルの運営を止める必要有り。危険物の入ったコンテナを移動しなければならない可能性も有る。(コンテナ埠頭を運営する会社はまだ決定されていないが、運営会社に協力を得る必要がある)

○将来(平成20年代初頭)整備される霞4号幹線も保安距離にかかるため、花火大会開催中は通行止めする必要有り。※霞4号幹線は臨港道路であることから、管理者である管理組合の判断で通行止めすることが可能。

<質疑>

○花火大会を開催する場所はこの場所以外にないと考えてよいのか。

→花火の規模による。他の場所であれば大幅に規模を縮小することになる。ただ花火を打ち上げるだけであれば場所はあるが、観客の要素を考慮するとこの場所しかないという事務局として考えている。むしろ規模が小さくてもこちらの場所のほうがいいというご意見があれば、述べていただければと思う。

○過去の招待席は何名収容できたのか。

→招待席だけであれば4～5千人収容が可能であった。花火大会を開催していた当時の富双埠頭に収容できる人数は3万人以内であったと推測している。

○今の説明から来年度花火大会を開催するにあたり、物理的な障壁はないと考えてよいか。

→バス停の問題等は残っているが、過去開催していた規模のものであれば物理的な障壁はない。

2. 花火大会の運営について

資金面について、有料観覧席を設置して個人及び企業に販売するということがあったが、これも含めて議論いただきたい。

<各委員意見交換>

○前回提示させていただいた他所花火大会資料では事業費に明らかにプラスとなっているのは1箇所しか見受けられなかった。過去の花火大会では観客席の一部を仕切り協賛企業や個人協賛いただいた方に招待券をお渡ししていた。

○四日市市民はあまりJRを利用しない。花火大会時に利用してもらうようPRすべき。有料観覧席の設置に賛成。

○花火大会時JRは増便していたのか。

→過去JRにお願いして増便してもらった。しかし、利用実績により増便数をJRが決定しており、大幅な増便ではなかったが、花火大会パンフレットにも増便の案内は掲載していた。JR自体は駅に増便案内ポスターを掲示しているようであるが、経費をかけてまではPRしていないようである。

○来年度は試行として小規模の有料観覧席を設置して様子を見てみたらどうか。

○既に個人協賛についてはパンフレットにメッセージと名前を掲載し、協賛金に応じた招待券を配っている

ということであるが、それをもっとPRしたら良いのではないかと。

- 有料観覧席はファミリーに受けるのではないかと思う。来年度試行的に実施してみてもどうか。安全面からも国道23号を横断する歩道橋ができてから(H18年度から)花火大会を開催するべきではないか。
- 歩道橋は公園来場者用として設置されるものであり、花火大会来場者全員の通行に耐えられるほど歩道橋のキャパシティは大きくないと思う。過去明石の事故があったことから、国道23号線の信号から横断する方法を取らざるを得ないだろう。従って歩道橋ができたからといって、安全面で大きく改善されないのではないかと思う。
- 以前市政モニターとして国道23号の横断歩道は地下道にして欲しいと市長にも直接要望したこともあった。
- 歩道橋の構造はバリアフリーか。
→バリアフリーは加味していると思うが、詳細までは今資料がないのでわからない。
- 当分の間花火大会会場となるので、歩道橋を花火大会に対応できるようなものに設計変更することはできないのか。
→国との協議が必要になり、この案件に限らず一般的には簡単に収まらないのが常であり難しいと思われる。
- 有料観覧席は賛成。椅子席ではなく、4人くらい座れるマス席として各マスにナンバリングする方法が良い。
- 飲酒した観客がつまずくので椅子席は危険である。マス席に賛成である。
- 熊野の花火は鬼ヶ城の花火が特色あって良い。コンビナートの背景を生かす等、四日市市ならではの花火をあげたらよいと思う。
- 四日市花火大会には特色はあるのか。
→①台船上で炸裂させる水上スターマイン ②同時に冠と呼ばれる花火を打ち上げる空中ナイアガラ ③煙火芸術協会の新作を間隔をあけて披露 の3つが特色といえる。
- 特色は市民に伝わっているのか。
→パンフレットには記載しているが、積極的に特色をPRしているわけではない。
- 隅田川の花火大会は有名であるが、川幅が100mも無いため大きな花火は打ち上げることはできない。小さい花火を大量に打ち上げるという演出をしている。四日市では演出はどのように決めているのか。
→会場の形状により制約があり、四日市の場合幅300mの運河があり、保安距離を考慮すると打ち上げられる花火の大きさは決まってくる。他の花火大会に比べると打上の間隔は短く打ち上げている。中日新聞本社事業部関係と花火師と商工課で決めている。
- 今回花火大会を復活するにあたり、特色を出して欲しいとお願いできるのか。
→可能であると思う。
- 市民参加の呼びかけと同時に特色をアピールしたらよいのではないかと。
○四日市花火大会は全国でも有名な花火師にお願いしているので、今年中に発注しないと花火師の予定が取れなくなってしまう。
- 霞4号幹線橋梁完成後はこれを利用することもできるかもしれない。
- 祝い事や節目の時の記念に市民の方々にご協力いただくことが、見る側も気持ちが入るのではないかとと思う。
- 花火大会ではなく花火まつりとするということであると思う。以前岩手県花巻市の花火大会を見たことがあるが、音楽に合わせて花火を打ち上げるというものだったが、情緒があって良かった。花火大会にも演出が必要である。
- ペットボトルを利用し、花火大会観覧者が中にろうそくを灯して参加するというのをテレビで見たが、このように花火大会との相乗効果をもたせるというのも良いのではないかと。
- 有料観覧席を導入し、市民参加型とするには、より広く「あなたも参加してみませんか」のようなキャッチコピーでアピールする必要がある。
- ホームページでのPR。有料観覧席の席料は振込式にしたらどうか。
- どこまで有料観覧席として確保するかが問題である。全て有料観覧席としてしまうと今まで歩いて見に来られた地元の方々が見られなくなってしまう。

- 最後の花火大会のときの協賛金で小口協賛はいくら位か。
→小口で1口あたり5,000～10,000円。
- なぜパンフレットにメッセージが載っているのか一般の方が見てもわからない。

3. その他

<各委員意見交換>

- アクセスについてはどうか。
→有料であるが、近鉄四日市駅、霞ヶ浦駅、富田駅、高花平や笹川などの団地等からもバスが出ていた。以前は花火大会観覧席付近までバスを入れていたが、多くの人が歩いている花火大会会場内にバスを入れるのは安全上好ましくないということで、天ヶ須賀工業団地やイオン北店東側にバス停を設置した。しかし、天ヶ須賀については国道23号線歩道を観覧客が歩くのは安全上問題があること、イオン北店東側については、乗客が60%ほどに減少し、住宅団地開発により住居が増えたことから交通規制が難しくなった。以上から花火大会会場付近にバス停を設けることが難しい状況にある。
- バスに頼らず、近鉄やJRを利用したパークアンドライド方式に切り替える方法もある。
- バス停を設置するには、かなりの面積が必要となる。花火大会終了後一斉に帰るため、数十台バスを止められるスペースが必要である。また人との導線の交錯が問題。
- 露天商はゴミを持ち帰っているのか。
→露天商は翌日ゴミ回収をしてもらっている。観客が露地で購入したものを捨てたゴミも多いのが現状である。
- 本来は港湾施設に露天商は許可できないこととなっている。
- 隅田川の花火大会のように大きなゴミ箱を置く方法もある。
- 花火大会会場への道中に街灯が少なく暗いためゴミが捨てられてしまう。
 - ゴミを捨てられない雰囲気作りが必要。ゴミが捨てられる箇所を可能であれば観覧席にしてしまうなど。
 - 市民の意識に訴えるしかない。

本日議論していただいた意見と市民の方からいただいた意見を基に次回開催日(10月16日)に素案を事務局で作成し提示させよう。

<次回開催日程>

- 次回開催日は10月16日(土)15時30分～ 総合会館7階第2研修室